

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
就労支援サービス		必修 (社精) 選択 (心)	1	2.3	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
古川 奨	B313	t-furukawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>就労支援に係る組織、団体及び専門職についての理解を深めることを目的とする。 <概要>課題学習、同時双方向型授業を通し就労支援を行う上での社会福祉士の役割と連携について講義を行う。また教員と受講生相互の応答、課題学習に対するフィードバック、質疑応答を行うことで就労支援の実際について理解を深める。</p>				
学習上の助言	就労支援に対する実際の取り組みに関して事前に見学等を行うことで法律や制度に明記されている就労支援についての学びを深めてほしい。				
教科書	新社会福祉士養成講座 18 第 4 版 就労支援サービス/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	雇用・就労の動向と労働施策の概要について理解し、説明できる。		HSU(1)(2)(5)社精心(1)社精(2)		
②	就労支援制度の概要について理解し、説明できる。		HSU(1)(2)(5)社精心(1)社精(2)		
③	就労支援に係る組織、団体の役割と実際について理解し、説明できる。		HSU(1)(2)(5)社精心(1)社精(2)		
④	就労支援に係る専門職の役割と実際について理解し、説明できる。		HSU(1)(2)(5)社精心(1)社精(2)		
⑤	就労支援分野との連携と実際について理解し、説明できる。		HSU(1)(2)(5)社精心(1)社精(2)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	課題を通して授業の進め方、評価についての説明を行い、就労支援を学ぶことの意義について学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	自分が思う就労支援の意義についてまとめる。		2
2	課題を通して働くことの意味と社会福祉士の役割について学ぶ①	課題送付・提出・フィードバック	指定教科書 P10~18 までを精読する。		4
3	課題を通して働くことの意味と社会福祉士の役割について学ぶ②	課題送付・提出・フィードバック	指定教科書 P19~32 までを精読する。		2
4	障害者、低所得者と就労支援について学ぶ。	同時双方向型授業	指定教科書の同目次部分を精読する。		4
5	専門職の役割と実際について学ぶ。	同時双方向型授業	指定教科書の同目次部分を精読する。		4
6	就労支援の連携と実際について学ぶ。	同時双方向型授業	指定教科書の同目次部分を精読する。		4
7	さまざまな働き方の支援について学ぶ。	同時双方向型授業	指定教科書の同目次部分を精読する。		4
8	7回までの総まとめ。	同時双方向型授業	7回までの課題、教科書、講義内容について総復習をする。		2
試	定期試験 達評価・評価のポイントを参照。				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を実施し評価する。試験内容は、同時双方向型授業で説明した内容から学生が達成すべき行動目標に示した部分の理解度を問う問題を出題する。				定期試験後、解説を研究室前に張り出す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	第3回までの課題、同時双方向型授業後のリアクションをまとめるための課題を確認し、授業内容の理解度を評価する。				課題、リアクションについては、必要事項について同時双方向型授業で説明を加える。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>Teams をつかった同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野から社会福祉の学びを深めることを課題として課す（4 時間）。</p> <p>教員の実務経験： 教員の实務経験：ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 9 年の臨床経験。 実践的授業の内容： 教科書に記載されている一般的事項を確認しつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>							